



1年間の兵役を終えてすぐに来日した蒼座社長。当初ほとんど話せなかった日本語も今や慣用語や方言すら自在に扱い、地域に馴染んでいる。「いい仕事をしたいと独立しました。今も品質へのこだわりは人一倍です」

屋根や屋上の役割の一つは、建物の中に雨風や紫外線が入り込むのを防ぐこと。しかし、日光を浴び続けられた皮膚が日焼けしたり、長雨で植物が根腐れしたりするように、雨風や紫外線を直接受ける屋根や屋上は建物の中でも劣化しやすい。放置すれば水漏れや腐食、住む人の健康を害する可能性もある。そこで重要なのが、防水工事だ。蒼座社長(52)が2000年、一人で立ち上げた「有

**防水塗装から建築事業も
高い技術力で事業拡大**

限会社SBI工業」は、防水に加え塗装や新築・リフォームなど事業を拡大し、「株式会社SBI管財」(伊藤建設株式会社)をも抱えるグループ企業に成長。飛躍へと導いたのは、徹底した品質へのこだわりと磨き上げた職人の技術力だ。ブラジルで生まれ育った日系3世の蒼座社長が来日したのは19歳の時。祖父の故郷である日本という国に興味があったのだ。さまざまな仕事をしながら全国各地を回り、松江のパチンコ店に勤務中、防水工事会社を営む客に誘われて現場に向い

た。「傷んだ屋根がみるみるうちにきれいになっていくのに驚きました。頼まれてシート張り作業を手伝うと、自身はもちろん現場の職人も驚くほどの仕上がりに。手さばきとセンスに惚れ込んだ経営者の熱烈な誘いに折れ、間もなくして転職した。3年後に起業。丁寧でスピーディーな仕事ぶりが評判となり、受注は伸びていった。そんな中、業務内容も自然に拡大。「防水の主目的は水漏れを止めること。その後、壁紙の張り替えや塗装、家の構造自体を修繕する作業が必要になる場合もあります。当初は専門業者に頼んでいましたが、お客様の要望もあり、自前で行えるよう技術を磨いていきました」と蒼座社長。建築業から転身した社員の入社を機に、13年からは新築・リフォームなど建物全般に関わるようになった。

専門分野に特化していた時代から多角化を進める現在まで、コロナ禍の中であえて受注を抑えた時期を除き、20年間一切赤字を出していない。その要因が品質へのこだわりだ。一級技能士を数多く抱え、社長自ら現場に足を運んで出来上がりを確認することも少なくない。「職人に100点はない。満足したら次はない」。腕一本で会社を育ててきた蒼座社長の言葉には重みがある。



**老舗の建設工事会社を継承
住宅・店舗リフォーム展開**

後継者難に悩んでいた老舗の建設工事会社「伊藤建設」を事業承継という形で引き継いだ。土木・建築工事から塗装・防水、内装仕上げまで行っていた総合建設業だったこともあり、地元へ浸透している会社名は残し、新たに1名増員。現在は、住宅や店舗のリフォームを中心に受注している。



**防水工事の専門会社から
「住まい」の守り手へ**

《SBI工業》は、防水工事に特化した専門会社として2000年に創業。以後、需要に応じる形で業務内容を増やし、現在は塗装や内装工事、新築・リフォームも担う。高品質な仕上がりに同業者からの評価も高く、地場ゼネコン幹部から自宅工事の依頼を受けることも。「自分の目が届かなくなるから」と営業所展開はしない。



**迅速なリフォーム対応で
不動産入居率は96%**

《SBI管財》は、SBI工業創業10周年を機に立ち上げた不動産賃貸会社。松江市伊勢宮町を中心に18のテナントやアパートを所有する。建築物のメンテナンスを担う専門業者をグループ会社に持っているという利点を生かし、日常的な維持管理や不具合が生じた時の修繕・リフォームなどをスムーズに実施。入居率は96%を誇る。



エスビー
SBグループ

「住まい」の質を高める
一級技能士たちのプライド

31
LEADING COMPANY

SBグループ

SBグループ

事業内容

外壁塗装、雨漏り修繕、防水、リフォーム、新築工事、不動産賃貸、総合建設

創業 平成15(2003)年10月

代表者 代表取締役 倉座 誠

社員数 18名(男16名 女2名)

本社 島根県松江市東出雲町損屋724-9

電話 0852-61-1003

採用エリア(勤務地)

松江市

採用区分

新卒採用

キャリア採用



1 一級技能士始め、高い技術を持つ若手スタッフが揃うSB工業。社員の仲は良く、隔年で行われる社員旅行が社内のコミュニケーションを一層深める機会になっている 2 社有車に乗り込む社員。鳥取県中部から島根県西部まで幅広いエリアをカバーしている 3 創業時は現場と営業の両方をこなしていた倉座社長(右)。仕事に対する厳しい姿勢には揺らぎがない

採用担当者からあなたへ

防水や塗装工事の専門性が高いだけでなく、各種リフォーム対応もできるのが当社の強み。仕事の幅が大きいのでいろいろな業務に挑戦できます。経験がなくてももしっかり研修するので大丈夫。女性も大歓迎です。



取締役管理部長
長尾 和則さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0852-61-1003

採用直通 E-mail

nagao@sb-k.co.jp

公式サイトはこちら



住まいを守る一流技術者たち

現場での経験を糧に、誠実かつ適切な営業を

「営業職のはずでしたが、初日にスーツを着て以来3年間は作業着で現場に出ました」と苦笑する。職人らの下で防水・塗装の基礎を学ぶとともに、帰社後は見積もりを作成。「業務内容が分かるからこそコスト感覚も身につきました。現場経験のおかげで今、自信を持ってお客様に提案できています」と胸を張る。

大阪からターンして松江の飲食店で勤務。結婚を機に転職を考えていた際、声を掛けてくれた客の一人が社長だった。「他社が好条件を提示する中、社長は『一人前にしてやる』。そこに惹かれました」。現在は主に県西部を担当し、半年間で約3万キロ車を走らせたという。一級建築施工管理技士の資格取得にも挑んでいる。



営業
山崎 大樹さん(34)
2018年入社



塗装
米田 篤史さん(37)
2006年入社



見えないところこそ美しく仕上げる

雨水などの侵入を防ぎ、建物の美観維持にも役立つ防水工事。耐用年数やコスト、現状などによって最適な工法や種類、使う道具なども異なり、型枠大工から転職した米田さんは、「当初は覚えるのに苦労しました」と頭をかく。防水工事では、下地処理や下塗り手を抜くと、表面のシートがきれいに貼られていても腐食が早く進むことも。「表面は誰でもきれいに仕上げられる。見えないところこそ手を抜かず、美しく仕上げるのが職人としてのプライドです」

現在は塗装班の主任で、一級塗装施工技能士の資格も持つ。「同じ現場は一つとしてなく、段取りや仕上がりに頭を使いますが、“気にしい”の性格が合っているようです」

卓越した技能とアイデアでよりよい暮らしを創造する

高校中退後、初めて3か月以上続いた職場が当社だった。ハングリー精神にあふれた社長に着かれ、次第に仕事自体にもやりがいを感じるように。「人生をかけて仕事をする彼は、僕が人生で初めて尊敬できた年上の人間」と断言する。

防水施工、塗装の一級技能士を社内でも唯一両方保有し、防水登録基幹技能者でもある。マネジメント手腕を発揮して、現場で効率的かつ安全な作業手順・方法を構成する中、最重視するのが住民の暮らしだ。「臭いや音など、作業中は住民の方にご負担を掛けがちです。少しでも削減できるよう工夫しています」



防水・塗装
松尾 歩さん(42)
2014年入社



建築は、常に学び続けられる仕事

入社3年目ながら、打ち合わせから見積もり、図面、現場監督などさまざまな業務に関わる。メインは一般住宅のリフォームが占めるが、店舗や新築物件も経験。「建築は、関わる人のセンスが問われる仕事。職人さんや同僚ら多くの人とともに一つのものを作り上げていく面白さがあります」

高校卒業後、専門学校で建築を学び、実父が経営する会社の関連会社に就職。「先を見据える力があり、常に結果を出してきた人間。尊敬しています」と父について語る。現在、二級建築士にチャレンジ中。「日々新しい素材が出てきている上、ネットなどで勉強されているお客様も多く、プロとして常に学びの姿勢が大事だと考えています」



伊藤建設
倉座 直斗さん(23)
2022年入社



一流の技術者を育成 資格取得もバックアップ

会社のパンフレットには、きりりとした表情の職人たちの顔が一級技能士の肩書と共に並んでいる。現場に出る作業スタッフ7人のうち、国家資格である塗装や防水の一級施工技能士が5人。うち2人はマネジメント能力にも優れた登録基幹技能者だ。倉座社長は、「資格取得はスタートラインでゴールじゃない。ここから職人としてどう生きていくかが決まる」と語る。会社では資格取得に向け、費用を全面的に負担するほか、有資格者によるマンツーマンの試験対策も実施。また未経験者でも作業に携われるよう、入社後3か月は現場や社内で先輩社員が後輩に付き、丁寧に指導している。

歯に衣着せぬ物言いの倉座社長だが、社員への愛情はひとさき強い。コロナ禍中は計画的に受注を縮小。「生まれたばかりの子どもや病気の配偶者、高齢の両親と暮らしている社員もいました。未知の病に罹患するリスクは計り知れませんが、社員やその家族の命に代わるものはないので」と倉座社長。継続中の仕事も、社員を3グループに分けて万が一誰かが罹患した際も、まん延しないよう細心の注意を払った。2年目は売り上げも元に戻ったが、一人として感染者は出なかった。

グループ会社に長男が入社したが、一族経営には関心がない。「若い職人を後継者にしていきたい。人事が回転することで会社は成長していくことができる」。強い意思で若手育成にも力を注ぐ。